

7. 編集後記

今年の部会報は3月に発生しました東京電力殿福島第1発電所の事故早期収束に向け電力、メーカー各社殿が大変ご苦勞されている中での発行となりました。このため、今回は日本アイソトープ協会 石樽先生に「福島第一原子力発電所事故の収束と修復に向けて一水化学の立場から」というテーマにて特別寄稿をお願いいたしました。

立場こそ違え、事故の早期収束は皆様の切なる願いと考えております。

東京電力殿福島第1発電所の事故の早期収束、携わっておられる方々のご健康、本部会の若返りと継続的な発展を切に願いつつ筆を置かせていただきたいと存じます。

(三菱重工業株式会社 莊田 泰彦 記)